

散乱光農POフィルムは

# カゲナシ5<sup>ファイブ</sup>

で決まり!

## 散乱光

ハウスの隅々まで  
光を届ける!

防滴性

耐久性

防霧性

保温性



## カゲナシ5<sup>ファイブ</sup>



### 光線特性（散乱光）

- ・太陽の光を散乱光に変換し、ハウス内に取り込みます。
- ・全光線透過率は透明タイプのフィルムと同等です。
- ・透明タイプのフィルムと比較し、ハウスの隅々まで光を届けます。
- ・散乱光の効果により、作物のヤケ抑制・色づき向上など秀品率アップが期待できます。



カゲナシ5



透明フィルム

#### 見え方の違い



カゲナシ5



当社透明フィルム

#### ハウス内カゲの違い



カゲナシ5

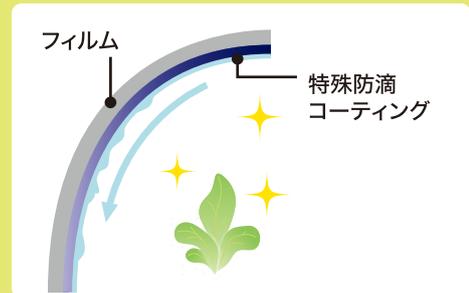


当社透明フィルム



### 防滴性

特殊な防滴剤をコーティングしており、防滴効果が長期間持続します。



特殊防滴コーティング

#### 使用上のご注意

1. 本製品には表と裏があります。フィルムに印刷された文字がハウスの外側から見て正しく読めるように展開してください。
2. フィルムの展開時には、しわ、たるみを伸ばす程度に軽く引っ張ってください。
3. ハウスバンド等との摩擦により破れることがありますので、ハウスバンドはゆるめに張り、換気作業は丁寧に行ってください。また、スプリング状の止め具で固定する場合、できるだけ緩やかに行うか、専用の補助部材をご使用ください。
4. イオウ燻蒸や散布、及びイオウ含有農薬の付着により、フィルムの劣化が促進される場合がありますのでご注意ください。
5. アルミ・ステンレスなどの熱伝導性の高いハウス部材を使用した場合、フィルム接触面が蓄熱により劣化する可能性がありますのでご注意ください。
6. 高温時にフィルムどうしが融着するおそれがありますので、展開途中や保管には十分ご注意ください。
7. 本製品は防霧仕様ですが、キリ・モヤの発生が皆無ということではなく、季節や栽培環境によっては発生することがあります。
8. 土壌熱消毒及び高温環境下での展開等によりフィルムの防滴性能が低下するおそれがありますのでご注意ください。
9. 解反・展開時に防滴処理面（ハウスの内側になる面）を傷つけないようにしてください。
10. 防滴処理面が濡れたまま重ねて保管すると、処理面どうしが接着する場合がありますため、フィルムをよく乾燥させてから保管してください。
11. 内張りカーテン資材として使用した場合、防滴処理面の傷つき、処理面どうしの接着の可能性がありますのでご注意ください。
12. フィルムの“絞り”加工は防滴性能が低下する場合があります。
13. 防滴剤塗布型のフィルムでは防滴処理面の一部に白いスジが見えることがありますが、防滴性や耐久性などの性能に影響はありません。
14. フィルム内の添加剤が表面に出ることで白く見えたり、巻の色目が変わって見えることがあります。
15. 暗所に保管されたフィルムは部分的に黄色くなるがありますが、展開すると元に戻ります。

